

賀正

年をひらく未来をひらく

21世紀へはばたく30歳

宿願実った開発道路



横芝町長 佐瀬 哲 司

昭和60年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨秋第2次中曾根内閣が誕生し、引続き政府は本格的な行政改革を断行する決意であり、私ども自治体も厳しい財政を余儀なくされておりますが、明るく豊かな住みよい町づくりのため、今年も一生懸命頑張っていく決意で心を新たにしております。

さて、本年は新生横芝町が誕生してちょうど30周年という記念すべき年にあたります。このため、2月には新町制施行30周年記念式典を挙行することになっております。

今日このように町が成長致しました陰には、幾多の困難を乗り越えてこられた歴代の先輩町長をはじめ、議会や全町民の皆様が、一丸となつてのたゆみない努力を積み重ねられた汗の結晶があつたればこそと、深く敬意と感謝を捧げるものであります。

私の悲願であり、町長就任以来町政発展上の重要施策としてお約束してまいりました、航空機騒音下対策としての産業開発道路建設事業（町道坂田遠山線改良）も、建設省や県当局のご理解ご協力によりまして、昨年9月に起工式の運びとなり、既にブルドーザやダンプのうなり

町民福祉の向上をめざして



町議会議長 伊藤 博

輝かしい昭和60年の新春にあたり、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみると、16年ぶりの大雪に作付期の異常低温で、4年続きの冷害かと心配されましたが、一変して夏の高温、雨なし記録と気象変化が大きかった中で、幸いに台風がなく、久しぶりに秋の豊作を喜ぶことができました。

さて、国の行財政再建による補助金減額と、地方財政を取り巻く厳しい環境の中にあつて、わが横芝町では、長年の懸案であつた産業開発道路が、地権者の皆さんのご協力建設重機の音が高く響き、ようやく一本の

太い輪郭が見えてきました。さらに、文化田園都市をめざす総合開発整備事業、町民コミュニケーションの場である集会施設の建設など、将来に向けて着々と明るい方向に前進していることは、誠に心強い限りです。

行政は「地方の時代」と呼ばれて久しく、地域住民のニーズに沿つた自治体運営が強く要望されておられ、議会の役割と責任の重さを痛感する次第です。町民福祉の向上のため、行政が的確かつ効率的に進められるよう、議会は常に切磋琢磨してまいりますので、変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

合併30周年という記念すべき年が、町民の皆様にとつて益々伸展される年となりますよう、ご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げて、年頭のごあいさつと致します。

